

令和3年2月1日 45号 山形市立第四小学校 校 長 日高 伸哉 〈児童数 205名〉

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

# 学校評価アンケート結果

今年度の学校経営について、保護者・児童・教職員に行ったアンケートの結果および今後の方針についてお知らせいたします。

項目			児童		保護者		教職員	
			元年度	2 年度	元年度	2 年度	元年度	2年度
確かな学力	学習	確かな学力	0	0	0	0	0	0
		聞く・話す	0	0	0	0	0	0
	行 事	行事への取組	0	0	0	0	0	0
		クルーズ班での取組	0	0	0	0	0	0
		外部人材・豊かな経験	0	0	0	0	0	Δ
豊かな心	挨拶、言葉づかい		0		0	0	0	
	対人関係(相手の気持ちを考え行動等)		0	0	0	0	0	0
	適切な相談・指導		0	0	0	0	0	0
	いじめ・体罰の早期発見		0	0	0	0	0	0
健やかな体	登下校の安全(交通安全、不審者への対応等)		0	0	0	0	Δ	0
	保健・食育		0	0	0	0	Δ	Δ
	運動・体力(進んで運動し体力をつける)		0	0	0	0	Δ	$\triangle$
	生活習慣・早寝早起き朝ごはん		0	0	0	0	0	Δ
	テレビ・ゲーム等家庭との連携		0	0	0	0	Δ	Δ
連携その他	学習習慣の確立のための家庭との連携		0	0	0	0	0	Δ
	学校からの	の情報提供	0	0	0	0	0	0
\(\(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2	楽しい学校		0	0	<u> </u>	0	Δ	0

%「よくあてはまる」「ややあてはまる」が 9.0%以上で $\bigcirc$ 、7.0%以上で $\bigcirc$ 、それ以外 $\triangle$ %令和 2年度の数値が前年度より上がった項目の記号に網掛けをしています。

#### 1 児童アンケートへの対応

「確かな学力」については、各教科固有の見方・考え方を働かせながら問題解決をしていく学習を更に推進する中で資質・能力が身に付くようにし、学ぶ喜びが連鎖するようにしていきます。

「豊かな心」では、児童会目標「人のことを自分のこととして考える」が示すように、日頃から他者 意識をもち、同学年及び異学年間で学校生活をしてきたことが高評価の要因として挙げられます。最上 級生の卒業の時期を迎え、これまでの深いつながりを再認識する活動を展開していきます。

「健やかな体」では、コロナ禍における「2 慣・3 密・4 絶」を意識した新しい生活様式の生活を実践してきました。保護者の皆様からは、毎朝の健康観察等で多大なご協力をいただいております。引き続き、「自らのいのちは、自ら守る」姿勢を保ち健康な生活ができるよう保健指導をしていきます。

#### 2 保護者アンケートより

#### (1) 各項目における評価結果の特徴及び対応

「確かな学力」の項目では、「確かな学力」に大きな期待と要望が寄せられています。今年度は、新学習指導要領が完全実施しました。引き続き、各教科等の本質に迫る単元づくりや児童一人1台のタブレット環境を生かしたICT教育の推進等により、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を展開していきます。

「豊かな心」の項目は、各小項目とも、前年度と同じような結果となっています。引き続き、挨拶や言葉遣い、友だちとのトラブルを未然に回避するための折り合いの付け方等、他者とのよりよいかかわり方にについて学ぶ場を設けていきます。

「健やかな体」の項目では、小項目「保健・食育」が高い評価になっています。これは、このコロナ 禍において、児童を含めたご家族の感染防止に係る取り組み自体が、健康保持の取り組みの土台になっ たと考えられます。この点につきましては、引き続き、よろしくお願いいたします。

## (2) 保護者アンケートより

「四小教育にさらに期待すること」 割合の多い順に

①基礎的な学力 22% ②思いやりの心 16% ③いのちの教育 15% ③豊かな表現力 15%

## (3) 保護者の自由記述より(主なものを集約)

- ○子どもが悩んでいて、親としてもどうしていいかわからなかった時、担任の先生が的確にアドバイス してくださり、丁寧に子どもへ寄り添ってくださいました。ありがとうございました。
- ○子どものノートへ丁寧なコメントや励ましのメッセージを書いてくださり、たいへんありがたく思います。担任の先生が、子ども一人一人を丁寧に見てくださっているのを感じますし、子どもの励みになっているようです。
- ○子どもが欠席した際、担任の先生から体調を心配しての電話をいただき、感謝しております。
- ○スキー教室の必要性はあるのでしょうか。(経済的な負担の面から)
- ○あまり伝統にこだわりすぎない方がよいと思います。子どもたちの自主性を重んじてもしっかりした チェック体制は重要かと思います。
- ○宿題はあってしかるべきです。しかし、自学は学校側が強制するものではなく、本人の気づきや家族 の勧めで行うのが自然だと思います。

# 2 今後の対応について

今週予定されている学校評議員会で各委員の皆様にもご意見をいただきながら、アンケート結果を 来年度の教育課程に反映していきます。

以下、来年度を待たず、今から対応できることについて記載しました。

### (1)「確かな学力」の育成に向けて、実態と系統性を踏まえた授業を行います。

実態と系統性を踏まえた授業構成により、まだ定着が不安定な資質・能力が身に付くように、繰り返し指導します。また、「アイテム算数」などの問題集を個に応じて活用していきます。

(2) 1 年間を締め括る三学期の特性を生かし、子どもの成長を促す「節」をつくる活動を位置付けます。 この1年の活動をふり返りながら、学級・学年・クルーズ班等の活動を締め括ります。それらの過程で、子ども一人一人が自らの成長や今後の目標等を自覚していくようにします。

> ご協力いただき、ありがとうございました。 今後も、心配なことがあれば、何でも(担任、教頭に)ご相談ください。